

区肺がん検診及び区民健診における胸部エックス線画像の再読影等について

平成30年8月21日に保健福祉委員会で報告しました区肺がん検診の再読影後の経過、新たに決定しました区民健診の再読影の実施及び杉並区肺がん検診外部検証等委員会について報告します。

1 区肺がん検診における胸部エックス線画像の再読影後の経過

河北健診クリニック(以下「クリニック」という。)で実施した区肺がん検診の再読影で要精密検査者となった44名について、9月14日現在における検査状況は、次のとおりです。

- (1) 44名のうち精密検査(胸部CT検査)の結果が判明したのは33名です。
- (2) 精密検査の結果が判明した33名のうち「更なる要精査」となった方は17名で、そのうち1名が肺がんと診断されました。

2 区民健診における胸部エックス線画像の再読影の実施

区は、クリニックに対して区肺がん検診と同様に平成26年度から平成29年度の間、区民健診での胸部エックス線検査を受診した約6,000名の再読影を要請しました。クリニックからは、平成26年4月から平成30年4月までにクリニックで胸部エックス線検査を受診した約36,000名全てを対象に再読影を行うこと、再読影開始は平成30年9月下旬であることの報告をうけています。

3 杉並区肺がん検診外部検証等委員会について

本年8月に杉並区肺がん検診外部検証等委員会を設置し、これまでに4回開催されました。審議等については以下のとおりです。

(1) 外部検証等委員会への諮問事項

杉並区が実施する肺がん検診の胸部エックス線検査において肺がんの見落としがあったことを踏まえて、公正かつ中立な立場から専門的な知見に基づきこれを検証し原因を究明するとともに、さらに区民が信頼できる検診とするため、貴委員会のご意見を承る。

【裏面あり】

(2) 外部検証等委員会の検討内容

- ・ 肺がん見落とし事故の概要の把握
- ・ 区肺がん検診の実施体制の事実確認と課題の抽出（杉並区、杉並区医師会、河北健診クリニックへのヒアリング等）
- ・ 他自治体の肺がん検診の実施体制等の把握

(3) 今後のスケジュール（予定）

9月下旬 中間答申

10月中旬 第5回委員会

最終答申